

東京天草郷友会会報  
臨版 21-2号  
発行 平成 21年 11月 7日  
発行所 東京天草郷友会  
発行人 園田 峰生  
編集 広報部  
事務局 千代田区平河町 2-5-7  
ヒルクレス平河 501号  
山本・園田法律事務所  
TEL&FAX 03(3265)1535

# あまさ

## 拡げよう 天草の 仲間の輪

原因案 梶原嘉辰 作

## 東京天草郷友会二期にあたって

東京天草郷友会の会員の皆様、関係者の皆様には、

御健勝のうとと拝察申し上げます。

各部門の役職、幹事の方々にも留任して頂き、さらに、各地域会の御推薦を得て、新たに十五名の方に幹事にご就任いたしました。

第二期役員は、鳥羽瀬建男副会長に広報、組織、荒木副会長には財務、更にはふるさと納税を担当していただき留任をお願いしました。新任副会長には藤川副会長兼幹事長の職務をお願いしました。平田広報部長、桝山女性部長、鬼海組織部長、岩下事業部長は従前どおり留任していました。小崎智富さんにお願いしました。

御案内どおり平成一九年四月の総会において、鳥羽瀬正一前会長からバトンタッチを受けて任期二年の一期が終り、今年度の四月の総会で再任され会長職を担当することとなり、第一期を迎えて新たなる発をいたしました。



平成 21 年度総会で  
再任  
戦後第 16 代会長

東京天草郷友会の目的の一つである郷里天草への寄与、交流に力を入れて参りました。平成十九年八月には、天草のホテルで、天草の行政、諸団体の幹部の皆様との懇談会を開催、平成二十年度の郷友会総会には天草から市・町長はじめ諸団体の皆様の参加を得ての意見交換会を実施、秋には郷友会員約七十名からなる天草への観光、ゴルフ旅行と天草での懇談会を実施することができました。また、帰省した際、天草のホテル・交通機関の割引、サービスを受けることができる状況が徐々に形を整えつつあります。

また、先の総会では、会員参加型の懇親会にしようということで、地域対抗芸能大会という初めての試みでありますましたが、約一百二十名の御参加を得て盛り上がった総会となりました。会員の皆様の御参加、ご協力に御礼申し上げます。

去る七月末に実施された海の家も、岩下事業部長の奮闘もあり、小さいお子さんからおじいちゃん、おばあちゃんまで、約二百二十名御参加いただき、盛況のうちに楽しい夏の一日を過ごすことができました。

これら天草郷友会の事業を今後も継続することにしていますが、その中でも特に、楽しい総会、充実し

スを受けることができる状況が徐々に形を整えつつあります。

また、先の総会では、会員参加型の懇親会にしようということで、地域対抗芸能大会という初めての試みでありましたが、約二百二十名の御参加を得て盛り上がった総会となりました。会員の皆様の御参加、ご協力に御礼申し上げます。

は天草から市・町長はじめ諸団体の皆様の参加を得ての意見交換会を実施、秋には郷友会員約七十名からなる天草への観光、ゴルフ旅行と天草での懇談会を実施することができました。また、帰省した際、天草のホテル・交通機関の割引、サービ

た機関紙の発行、これを支える財政の充実に重きを置いて、東京天草郷友会をますます活性化できればと念願しております。

先に述べた、会員参加型の総会、帰省の際、天草でのホテル・交通機関のサービスなどの企画、発案は、いずれも郷友会会員の皆様から御提案のあつた企画を実行に移したものであります。

ます。お盆休みを利用して墓参りと  
中学校同窓会に出席するため帰省  
致しましたが、青い空、青い海、そ  
れに緑豊かな山々からなる郷里天  
草は、思い格別なものがあります。  
東京天草郷友会の目的である親  
睦、互助、天草への寄与、交流を常  
に念頭に置き充実した会となるよ  
う努力する心積もりであります  
が、なんといつても会員の皆様の御協  
力が必要不可欠でありますので、積  
極的な御参加をお願い申し上げま  
す。

平成二十二年度総会は

四月十一日

ヒルトン東京

芸能大会 参加者募集

## 平成21年度会費・維持会費、ご寄附による収入報告書

(平成21年1月1日～10月30日)

平成21年度 会費納入者 307名

大矢野(9名)	天草町(20名)	新和(22名)	本渡(68名)	五和(36名)
内野 多恵	中村 久幸	中元 令士	松尾 希一	伊藤 博通
古嶋 康義	川原 利之	川端 光広	杉本 道人	森本 雅生
岩崎 浩明	濱田 均	織田 為人	鶴田 義久	猪口 孝一
山田 民雄	尾崎 隆司	山内 亀典	野田 時治	浜崎 照元
池田 日出男	木田 研一	湯澤 泰彦	中村 琢磨	小林 惟邦
須崎 哲哉	西崎 忠昭	蜂谷 憲一	織田 堅	松村 信昭
連川 弘二	竹森 要	船元 義之	山下 公男	山川 浩次郎
新川 れい子	竹森 治	松尾 勝志	山下 康親	山下 博行
松岡 康雄	古里 光義	山川 峰一	原田 幸徳	山田 清
	尾崎 盛義	深堀 幸子	肥前 孝子	山本 和子
倉岳(1名)		川口 雄二	滝口 ナナヨ	久野 栄子
藤川 佐利	鬼海 俊作	鈴木 鈴美	洲崎 和人	山本 清
	武田 三千穂	山口 一明	梅本 進	吉川 勝三
松島(8名)		原 哲世	園田 奎生	菅原 匠宏
福田 宝作	町村 良之	山下 誠進	橋口 守	寺崎 典男
塚本 七之助	松山 英文	田中 信子	和田 東洋司	長濱 敏明
大久保 幸一	山田 徹子	江越 黙	松田 卓巳	中元 次富
小山菊司	若松 一喜	柳田 格	二宮 イツ子	城内 政秋
志茂豊子	竹森 要	福田 満男	近藤 耕三郎	三澤 哲也
松浦 富夫	井上 ナラ子	鬼塚 勝代	齋藤 善明	中井 詔太郎
山下勝正	*** ***	浦田 建	小倉 しづ子	藤吉 俊宣
福田 勇至	*** ***	田原 松雄	池田 俊雄	金子 荒木
	*** ***	浦田 混	錢目 裕子	親洋
福本(11名)		益田 九州男	田原 美紀子	猪口 逸男
福田 末隆	柴田 健雄	大中 義広	島崎 興継	甲斐 貞顯
玉田 七郎	柴田 英雄	新 日出雄	織田 繁人	釜崎 孝行
竹馬 久雄	柴田 定臺	中村 和子	奈良 崎孝佳	神田 昌利
勝木 隆	小崎 智富	牛深(29名)	山下 留夫	清原 桂典
久保内 総子	小川 満枝	玉川 和子	島崎 勝人	河山 千鶴香
原田 敏明	橋本 博人	玉川 豊康	野田 昌孝	玉尻 鉄矢
前田 非登美	長田 篤	相良 豊	相良 謙雄	鳥羽 瀬建男
松本 愿	川田 信雄	三上 丸子	飽田 賢一	原田 直豊
梅田 正利	天草 二郎	西向 敦	平田 俊清	本多 昭八
末松 千三郎	今福 幸春	早水 橋夫	赤石 洋子	三俣 香代子
山口 清志	押方 喜恵子	山崎 義明	原田 純吾	岩崎 八男
	押方 喜恵子	長谷 場亮祐	近藤 忠	矢島 静子
坂井 里美		平下 寿	島崎 静子	鳥羽 正一
梅田 正利		平下 用三郎	山下 用三郎	金子 正朝
末松 千三郎		大曲 仁	裕田 功	加藤 興志郎
山口 清志		濱 了二	秋田 健二	山下 登
*** ***		押方 喜恵子	板垣 壽朗	清水 一男
御所浦(10名)		野平 秀達	*** ***	*** ***
天羽 幾世	松崎 文男	野平 秀達	佐伊津(5名)	山下 登
大槻 輝子	吉田 安人	藤田 光政	佐伊津(5名)	*** ***
鶴岡 緑子	砂岡 俊宏	足立 恭子	緒方 孝子	河浦(20名)
鶴岡 庄次郎	赤城 一徳	濱元 富男	北内 寿夫	
富山 三希子	入来 哲男	里見 静代	黒瀬 大造	
松崎 浅男	*** ***	北條 秀衛	高木 敏也	
吉永 三徳	龍ヶ岳(12名)	上羽 泉	道田 滿	
大塚 將碩	土佐 幸子	三浦 善四郎	飯作 金彦	
鶴岡 幸枝	中野 重徳	下川 洋子	小川 矩正	
鶴岡 しきり	赤瀬 壱治	小森 友恵	*** ***	
	堺 千種	宮崎 英典	尾崎 真由美	
*** ***		中原 栄子	小師 和子	
姫戸(9名)		長野 田鶴子	村岡 治郎	大塚 满
前田 義明	坂川 武	廣田 和史	中町 一誠	東 文昭
前田 嘉也	段下 正志	安部 達郎	山口 安信	坂本 初義
井上 勉	福岡 健	荒木 克也	松岡 秀枝	西尾 昭秋
内田 由美子	北里 章吾	井上 雅之	伊藤 百合子	尾崎 勝美
志水 勝喜	瀧下 啓介	猪口 清一郎	松尾 尚	鬼塚 国治
本田 治幸	道上 登美朗	*** ***	金子 義行	岩崎 勝美
山下 純二	島崎 源之助	*** ***	*** ***	鬼塚 国治
出口 定敏	*** ***	*** ***	*** ***	小松 茂三郎
田中 敏明	*** ***	*** ***	*** ***	寺平 末廣

## ご寄付者

¥181,000

氏名	金額円	氏名	金額円	氏名	金額円
平田 俊清	38,000	高木 敏也	8,000	玉田 七郎	2,000
中井 詔太郎	18,000	坂本 初義	8,000	斎藤 善明	3,000
杉本 道人	8,000	赤石 洋子	5,000	山口 清志	3,000
田河 豊通	8,000	三宅 康定	5,000	平山 カツミ	3,000
西向 敦	8,000	川原 利之	3,000	廣田 和史	2,000
山内 亀典	8,000	西末 光	3,000	山田 清	2,000
新日 出雄	8,000	山下 留夫	3,000	松尾 尚	1,000
矢島 静子	8,000	竹森 治	3,000	中原 栄子	1,000
荒木 親洋	8,000	緒方 輝男	3,000	大曲 仁	1,000
福本 勝吉	8,000	藤川 寿子	2,000	***	****

維持会費

合計 260,000円

園田 峰生	50,000	赤石 洋子	10,000
平田 俊清	40,000	鳥羽 瀬正一	10,000
荒木 親洋	30,000	助村 隆典	10,000
藤川 博祥	30,000	金子 末則	10,000
山崎 義明	20,000	井上 雅之	10,000
竹森 要	20,000	無記名納入者	10,000
大田 至	10,000	*** ***	****

会費、維持会費、子育ての納入を本懸念します

平成21年度の会費、維持会費及びご寄附者の皆様  
ありがとうございました。厚くお礼申しあげます

平成 21 年 10 月 30 日までの納入者を掲載致しました。事務的処理にて未掲載の方々にはお詫び致します。

## 正会員の特典の「」案内 会費納入者はお得じす

### ■正会員とは (条件)

- ・年会費、維持会費納入者、または、
- ・総会・ゴルフ大会、旅行等の参加者
- ・正会員の家族及び役員幹事の紹介者

### ■会員証の発行

- ・平成二十二年一月から左記条件に適合した正会員に随時発行する。

### ・会員証とは会員登録記載

### ■正会員の特典

- ①郷里天草の旅館、ホテルの割引
- ・ホテルアレグリア天草 (本渡)
- ・ホテル「河丁」(本渡)
- ・旅館「茶碗屋」(本渡)
- ・はまや旅館 (新和町)

\*会員証の提示または会員番号での予約

### ②天草エアラインの特別割引

- ・神戸空港 → 天草空港
- ・熊本空港 → 天草空港
- ・福岡空港 → 天草空港

### \*天草エアライン発行の

### 「特別割引申込書」に記載契約

### ③食事処、お土産等の購入の割引

### \*支払時に会員証の提示

問合せ東京天草郷友会事務局

平田俊清 (090-3524-9113)

TEL&FAX 03-3265-1535

E-mail amakusa-gouyu@nifty.com

## 財団法人東京天草育英会 再活動開始

## 財団法人東京天草育英会の 目的と課題

十余年活動を休止していた「財団法人東京天草育英会」を東京天草郷友会が主幹

となって再活動させることが、平成二年八月二十八日の幹事会で合意された。

東京天草育英会は昭和三七年に設立され、

平成一四年度までに四一名の学生が本育英会から奨学資金を受けている。しかし、低金利時代となつた十余年前から資産から生じる果実(金利)では奨学金の支払いが不可能となつたために会活動は休業状態となつた。しかし、諸先輩が残した資産と志を継承するため事業活動の再会を図ることになつた。

新任理事には東京天草郷友会の会長副会長、相談役が就任した。

理事長 園田 峰生 (新任)

常務理事 藤川 博祥 (新任)

理事 鳥羽瀬建男 (新任)

理事 荒木 親洋 (新任)

理事 西 功 (新任)

理事 小川 矢正 (留任)

理事 木原理一郎 (留任)

奨学資金は運用資金の金利で給付することは現在の金融環境では不可能である。給付は寄附、事業収入に頼らざるを得ない。

毎年、一人毎月一万円を給付するとして、年間では九十六万円の収入が必要である。

財団法人東京天草育英会は天草出身者で前途有為の学生のうち経済的に恵まれない学生に奨学資金を給付する文部科学省認可の財団法人で、四〇余年の歴史があります。この奨学金は一人当たり月額1万円を給付しており貸付金ではなくて給付金で返済の必要がないこ

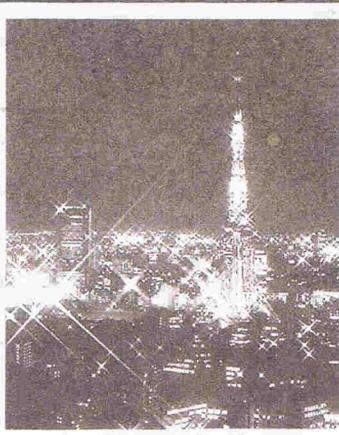
とが特長である。

しかし、昨今の長期的に続く景気低迷により、子息の進学に伴う経済的負担が多くなっている父兄が増加している。そこで父兄の負担を少しでも軽くするために当時、本財団が設立された。

当財団の運用資金は一千二百萬円の基本財源を信託銀行の貸付信託による運用益が主要な財源である。

運用益の現状は財務省及び日本銀行当局の景気対策と称して数年低金利政策を実施しており運用益は減少し続けております。当面この政策の変更は望めないと認め当財団の運用資金について何らかの補強策が必要です。

監督官庁である文部科学省からは、「合併か解散」を検討する旨の通告がある。(設立経過は本紙次の12面に掲載)



## 霞ヶ関ビル 35階 東海大学校友会館

株式会社 霞ヶ関東海俱楽部

### 一営業案内

ご婚礼・ご宴会・会議・同窓会・祝賀会  
レストラン&バー・鉄板焼

### ご予約・お問い合わせ

〒100-6033  
東京都千代田区霞が関3-2-5  
霞が関ビル33階  
TEL 03 (3581) 0121  
<http://www.tokai33.co.jp>

スマイル引越しセンター  
東京センター

0120-578825

東京運輸株式会社

代表取締役  
栄山 輝雄  
(天草町福連木出身)

本社  
東京都板橋区桜川2丁目15番18号  
TEL 03 (3931) 7004~6

営業所  
夜間専用TEL 03 (3935) 7577  
FAX 03 (3931) 7512  
東京都板橋区桜川2丁目13番11号  
TEL 03 (3934) 2371

茨城営業所  
茨城県猿島郡結和町大字女沼  
字向原605-2  
TEL 0280 (93) 0004

# 平成二十一総会の開催 芸能大会で盛り上がる

平成二十一年四月二十一日、東海大学校友会館にて平成二十一年度定期総会と懇親会を開催した。

第一部総会では一世会員大槻尚美さんにより開会宣言がなされ、園田会長の挨拶の後に、平成二十年度の会務、会計報告（掲載の収支報告書参照）及び監査報告され承認された。

本年度は役員改選の年であり園田峯生会長が次期二年間の会長として再選された。また、遠路、ご多忙にも係らず、ご出席を賜りました多数のご来賓の方々を二世会員坂井美穂さんから紹介された後に、来賓代表の一年度の総会を終えた。

第二部講演会は講師、熊本県東京事務所総務課井戸下重信課長から「故郷へのまごころ」「ふるさと納税でおもいやり」を演題して講演、質疑・応答がなされました。

「会員の皆様からの温かい、思いやりを継続的に故郷へ届けましょう」故郷納税で郷里の発展に寄与できると思います。

第三部懇親会では「地域別&グループ」対抗芸能大会において演説歌手天草二郎さんを審査委員長として開演した。会場では、思ひがけない

方々の陳芸に多いに盛り上がった。また、恒例のイブント大抽選会が更に盛り上がりが増幅させた。

最後に、全員参加の天草小唄・ハイアドリで会員の心の輪が拡がった。万歳三唱で閉会、来年の再会を確認し合つようにして帰路についた。

イヤ踊りで会員の心の輪が拡がった。万歳三唱で閉会、来年の再会を確認し合つようにして帰路についた。



## 平成二十一年度総会は大盛況

### 総会出席者 一百七十七名

出席者内訳

- 来賓者数 三十一名
- 会員 百三十名
- 会友 五十六名

本年度の総会では会員参加をテーマに企画した「地域&グループ対抗の芸能大会」を実施したために、会員同伴の会友の参加者が多くなった。

また、ご来賓者も郷里天草の行政、観光協会等の機関・団体、熊本県事務所関係者及び関東あまくさ地域会の各会長、幹事長、事務局長の皆様が多数ご参加頂いたことで懇親会が盛り上がり、大盛況に総会・懇親会を終演することができました。

平成二十一総会・  
芸能大会も実施

### 平成21年度総会・懇親会収支報告書

収入の部				支出の部					
項	収入内訳	単価	数量	金額	項	支出内訳	単価	数量	金額
1	総会会費収入			1,341,000	1	年会費納入	2,000	106	212,000
2	郷里・県事務所関係寄附金			106,000	2	総会会場費(飲食費を含む)	一式		1,327,890
3	各地域会寄附金			130,000	3	総会案内往復はがき等購入費	一式		181,110
4	会員等の寄附金			154,000	4	往復はがき、来賓案内、プログラム、名札等の作成費	一式		20,184
5	年会費	2,000	106	212,000					
6					5	来賓、出席者等お土産代	一式		198,250
7					6	総会備品購入費	一式		14,000
8					7	駐車料金及び高速代	一式		3,400
9	総収入			1,943,000	8	ハッピクリーニング代金	750	41	30,750
10	予備費より(赤字)補填			159,824	9	原田悠里、天二郎車代			112,000
11					10	御礼状通信費	80	30	2,400
12					11	振込手数料(手数料、CD代金の支払い)	420	2	840
13	総収入			2,102,824	12	総支出			2,102,824

### 平成20年度収支決算報告書

平成20年1月1日～12月31日

収入の部(円)	支出の部(円)
総賃金 2,520,721	通常費 161,353
年会費 668,000	事務費 243,909
機持会費 280,000	旅費 141,105
寄付金 181,000	会議費 149,085
広告費 330,000	広告費 29,350
贈り物 14,000	機械費 22,520
懇親会費 1,555,000	会員料 517,560
旅費 1,682,041	旅費 2,940,923
東京三菱UFJ銀行預金利子 8支票合計	振替送金費 35,510
H20年度收入総合計 3,031,008	H20年度支出総合計 2,976,433
収入合計 5,551,729	支出合計 5,551,299
総賃金 内訳	備考
内 訳 金 額(円)	
現 金 43,244	
船便局振替口座 2,527,985	
東京三菱UFJ銀行 4,087	
合 計 2,576,296	

以上の監査結果、適正かつ正確であることを確認しました。

平成21年 3月 13日

会計監査  
会計監査

輔方 輝男  
山田 清

一般建設業 とび、土木工業  
東京都知事許可番号(般)-17 第124472号  
クストケセツ  
九州斗建設有限公司  
代表取締役 寺 平  
末 廣

ご宴会、お食事、ご宿泊…

- 各種パーティーや歓送迎会
- 同窓会や謝恩会
- 結婚・結婚式…

10名様より300名様までご人数にあわせてお部屋をご用意いたします。



地下鉄千代田線乃木坂駅4番口うえ

ホテル  
はあといん乃木坂

健保会館

〒107-0062 東京都港区南青山1-24-4  
TEL 03(3403)0531

FIVE STAR

★★★★★  
久保 祐一郎  
(龍ヶ岳出身)

M

代表取締役  
自宅  
携帯電話  
電話  
FAX  
○一  
○二  
○三  
○四  
○五  
○六  
○七  
○八  
○九  
○十  
○十一  
○十二  
○十三  
○十四  
○十五  
○十六  
○十七  
○十八  
○十九  
○二十  
○二十一  
○二十二  
○二十三  
○二十四  
○二十五  
○二十六  
○二十七  
○二十八  
○二十九  
○三十  
○三十一  
○三十二  
○三十三  
○三十四  
○三十五  
○三十六  
○三十七  
○三十八  
○三十九  
○四十  
○四十一  
○四十二  
○四十三  
○四十四  
○四十五  
○四十六  
○四十七  
○四十八  
○四十九  
○五十  
○五十一  
○五十二  
○五十三  
○五十四  
○五十五  
○五十六  
○五十七  
○五十八  
○五十九  
○六十  
○六十一  
○六十二  
○六十三  
○六十四  
○六十五  
○六十六  
○六十七  
○六十八  
○六十九  
○七十  
○七十一  
○七十二  
○七十三  
○七十四  
○七十五  
○七十六  
○七十七  
○七十八  
○七十九  
○八十  
○八十一  
○八十二  
○八十三  
○八十四  
○八十五  
○八十六  
○八十七  
○八十八  
○八十九  
○九十  
○九十一  
○九十二  
○九十三  
○九十四  
○九十五  
○九十六  
○九十七  
○九十八  
○九十九  
○一〇〇  
○一〇一  
○一〇二  
○一〇三  
○一〇四  
○一〇五  
○一〇六  
○一〇七  
○一〇八  
○一〇九  
○一〇一〇  
○一〇一一  
○一〇一二  
○一〇一三  
○一〇一四  
○一〇一五  
○一〇一六  
○一〇一七  
○一〇一八  
○一〇一九  
○一〇一〇〇  
○一〇一〇一  
○一〇一〇二  
○一〇一〇三  
○一〇一〇四  
○一〇一〇五  
○一〇一〇六  
○一〇一〇七  
○一〇一〇八  
○一〇一〇九  
○一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇八  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇九  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇〇  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三  
○一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四  
○一〇一〇

# アトラクション地域＆グループ対抗 初挑戦 芸能大会

新和チーム：ヒョットコおどりとヤットン節

東京天草郷友会総会



再任された園田会長の挨拶



第 10 回記念  
天草ふるさと対抗ゴルフ大会  
成績表

## 団体戦

優勝	新和町チーム
準優勝	ゲストチーム
3位	河浦町チーム
4位	有明町チーム
5位	松島町チーム
6位	五和町チーム
7位	龍ヶ岳町チーム
8位	本渡市チーム
9位	芥北町チーム
10位	天草町チーム

## 個人の部

優勝	石川 善章
準優勝	藤川 圭一
3位	歳田 文彦

## シニアの部

優勝	安藤 儀幸
準優勝	小崎 智富
3位	池田 輝満

## レディスの部

優勝	山本 弘子
準優勝	堺 千種
3位	長谷場 里江

今年も会員、会友、ゲストの皆様が、大勢参加して頂きました。そして今回もたくさんの方に協賛金・協賛品をいただきました。重ねて深くお礼申しあげます。

ゴルフを通じて天草出身者及び天草を愛する関係者の輪を広げよう、そして仲間の交流を深めようと計画をいたしました。天草ゴルフ会です。天草人の負けん気と、天草人の燃える気質を対抗戦という形で火をつけました「天草市十三町対抗ゴルフ大会」として、平成十二年六月六日にスタートいたしました。

その後、平成の市町合併で会の名称を「天草ふるさと対抗ゴルフ大会」(愛称: 6・6会)といたしました。旧市町名が忘れないで、旧市町名チームで戦っている大会です。

お陰様で、今回も土曜日の開催にも係らず百二十一名の参加があり、郷友会活動の一部として、大きな役割を果たしていると思つております。

今回、十回目の開催でしたが、毎回、毎回盛会にて開催をして参りました。

皆様のご支援と協力を賜つており、心より感謝いたします。十回記念として 6・6会の帽子をお配りいたしました。

今後も、二十回、三十回と継続していくことを願つております。いついつまでも元気で、このゴルフ会に参加して頂きますようお願い致します。

大会会長 藤川 博祥  
大会司会人 一同

## お礼と報告

# 第一〇回天草ふるさと対抗ゴルフ大会

## 第 10 回までの成績表 新和チーム 5 回優勝: 5 割の成績、河浦町

項目	緑野 カントリー	東千葉 カントリー	サ・ブリッ ジゴルフクラ	緑野 カントリー	山武グリー ンカントリー	山武グリー ンカントリー	山武グリー ンカントリー	山武グリー ンカントリー	山武グリー ンカントリー	
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
優勝	河浦町	新和町	新和町	新和町	河浦町	河浦町	牛深市	本渡市	新和町	新和町
準優勝	芥北町	河浦町	河浦町	芥北町	本渡市	本渡市	河浦町	河浦町	五和町	ゲストチーム
第3位	新和町	五和町	ゲストチーム	本渡市	牛深市	新和町	有明町	有明町	牛深市	河浦町
参加者数	101名	115名	119名	125名	136名	130名	144名	130名	130名	131名

優勝  
おめでとうございます  
平成二十一年六月六日



第 10 回 団体戦 優勝者 表彰式

参加された新和チーム全員集合!!

# 恒例6年目の 夏休みファミリー大会

# 夏休みファミリー大会

館山 坂田港で開催 参加者 217 名

恒例の郷友会「夏休みファミリー大会」が 7 月 26 日 館山市坂田(ばんだ)港にて開催されました。

今回で 6 回目となります。これまでにも雨にたたられること無く、まさに夏空の下、壮若男女、子供たち、総勢 217 名の参加を頂き、大盛況に終了致しました。

本会は海をテーマに郷友会会員、そして、ふるさと天草からの在住の皆様とその 2、3 世のご賛同をお願い、また、その支持を得て、毎年に、発展をとげてまいりました。

子供から大人まで、充分応えるべく、プログラムを盛り込んだ構成で定期開催を致します。

毎年、7 月の最終日曜日(次年は 7 月 25 日)を開催期日に定めて、皆様のご参加をお待ちしております。来年「も、こそ」ご家族、ご友人をお誘い合わせご参加下さい。

事業部長 岩下 直記

事業部幹事 一同

## 夏休みファミリー大会 収支決算書

収入部			支出部		
項目	数量 & 内訳	金額(円)	項目	数量 & 内訳	金額(円)
前年度繰越金		11,407	定置網	2隻	230,000
会費		525,000	漁港協力金		10,000
参加人数	217名		海の家造作費	材料費	50,000
協賛金(敬称略)		202,000		労務費	60,000
・園田峯生	・鳥羽瀬建男		資材搬入費		60,000
・堺 亜流	・竹森 要		マリン機材費 & グッズ		180,000
・荒木親洋	・吉田 真一		小型ヨット①、ジェットスキー⑧、ボート②		
・長谷場亮祐	・赤石洋子		飲食材料費一式		200,000
・山田 清	・野田としこ		レジャーS団体保険		19,500
事業助成金	東京天草業友会		事務所経費		8,000
			運営事前準備費		20,000
合計		727,000	次年度繰越金		907
			合計		838,407

### ■ ご厚意の品々等のご提供者(敬称略)

藤川博祥、本田治幸、新川れい子、吉田真一、菊池豊、野田とし子ご夫妻、船元一郎  
 ☆テント、食器材、調理用品他、スイカ10個、団子他、子供用菓子類、ジュース2ケース、あら汁

### ■ 設営協力

(株)藤川工務店 (有)マキノ・グループ

### ■ 運営協力

☆コスモマリンクラブ クルージングスタッフ 7名 大型ヨット1艇 レティシアⅢ号  
 ☆小型ヨット 講師 元オリンピック強化選手及び夢の島マリーナ 2名 他サポート 2名  
 ☆市川ジェットチーム スタッフ 11名  
 ☆運営進行、調理・配膳協力 郷友会会員各位 30名



☆海辺で食欲倍増



エンジョイ! するぞ~



運営協力コスモマリンクラブのメンバー



定置網漁



小型ヨット体験



大型ヨット「レティシア号」操縦体験

- ⑤ ④ ③ ② ① 子供ヨット教室 (小型ヨット)
- 大型ヨット体験クルーズ (操船体験)
- マリンスポーツ全般
- 終日開催 ☆ジエット・ボート☆、バナナボート等
- 本格漁師・定置網漁

# 水上・長瀬 秋の親睦バス旅



下船船着き場

長瀬は 荒川の清流や奇岩懐石、梅・桜・ツツジ等の花々と、1年を通して見どころの多い渓谷です。



車内で懇談



船下りした人、散策した人：トイレ・買い物の人はいません



ホテルでの「懇親会」



 <b>池田 日出男</b> <small>(大矢野出身)</small> 〒271-0094 千葉県松戸市上矢切一六七四一三 電話 ○四七二三六六二二八九八 FAX ○四七二三六六二二八九八 <small>代表取締役</small>	<b>エヌエスユニ株式会社</b> 代表取締役 <b>山下用三郎</b> <small>(本渡出身)</small> 本社 〒154-0012 東京都世田谷区駒沢3丁目14番5号 TEL (03)3413-6262 (代表) FAX (03)3413-6622 <small>●●●</small> 航空便受付時間 午前九時～十二時、午後二時～四時 休診日 曜日午後土曜日午後 楽産省ガス工作物溶接承認事業所 第1種圧力容器 球形ホルダー・有水式ガスホルダー・各種製缶 SS・SUS製サイロ、タンク・配管、各種現場工事 (工場・白井工業園地一従業員100名)	<b>柴田 治美</b> <small>(紫北町出身)</small> 横川バス停前 〒193-0823 八王子市横川町五一五(陣馬街道筋) 電話 ○四一一八二五二〇三〇三 藤子バード 東京墓地用谷区第3-14-57154-0012 駒沢店(国道246号駒沢交差点際) TEL. 03-3422-1239 (代表) FAX. 03-3413-6622 <small>●●●</small> 休診日 曜日午後土曜日午後 楽産省ガス工作物溶接承認事業所 第1種圧力容器 球形ホルダー・有水式ガスホルダー・各種製缶 SS・SUS製サイロ、タンク・配管、各種現場工事 (工場・白井工業園地一従業員100名)	<b>株式会社 竹森工業</b> <small>(大江出身)</small> 代表取締役 <b>竹森 要</b> 熊本県人会理事長 (大江出身) 通産省ガス工作物溶接承認事業所 第1種圧力容器 球形ホルダー・有水式ガスホルダー・各種製缶 SS・SUS製サイロ、タンク・配管、各種現場工事 (工場・白井工業園地一従業員100名)	<b>本田 治幸</b> <small>(飯戸町出身)</small> 有機栽培のおいしい果物全般 「产地直送いたします」 <b>株式会社 リブファーズ</b> <small>代表取締役</small>
--	--	--	---	--



## ☆第一回中井詔太郎レポート

# 郷里天草の現況

## 人口減少と少子化による 小中学校の統合

天草で鑑定評価の仕事を始めて四年半近くになりました。地価公示、地価調査、財産処分等の鑑定評価で天草島内はほとんど回り、土地勘もかなりつきました。

各地の施設や小中学校の場所と校名もわかるようになりました。

今後は郷友会の現地駐在員として会員の皆様に天草の現況をご報告して参りたいと存じます。

合併後、過疎化が進んでいる地域では予想以上に人口が減少し、少子化により生徒数が少なくなりました。

このため、最近は熊本県や天草市より依頼された小中学校等の施設処分の評価をしています。

天草市では学校規模適正化推進計画をたてて統廃合を進めて行きます。

郷友会の皆様が卒業された長い歴史をもつ小中学校の相当数が閉校になります。

納税者として地域の一つのシンボルである校舎と校庭の活用を考えているところです。自民党も民主党も選挙公約で教育現場に親の負担を軽減するために巨費を投じようとしていますが過疎地の小中学校の統廃合と施設活用について具体的な提案をしていません。

天草で鑑定評価の仕事を始めて四年半近くになりました。地価公示、地価調査、財産処分等の鑑定評価で天草島内はほとんど回り、土地勘もかなりつきました。

各地の施設や小中学校の場所と校名もわかるようになりました。

今後は郷友会の現地駐在員として会員の皆様に天草の現況をご報告して参りたいと存じます。

合併後、過疎化が進んでいる地域では予想以上に人口が減少し、少子化により生徒数が少なくなりました。

このため、最近は熊本県や天草市より依頼された小中学校等の施設処分の評価をしています。

天草市では学校規模適正化推進計画をたてて統廃合を進めて行きます。

郷友会の皆様が卒業された長い歴史をもつ小中学校の相当数が閉校になります。

納税者として地域の一つのシンボルである校舎と校庭の活用を考えているところです。自民党も民主党も選挙公約で教育現場に親の負担を軽減するために巨費を投じようとしていますが過疎地の小中学校の統廃合と施設活用について具体的な提案をしていません。

先日 教職員住宅の評価をした評価した上天草市松島町教良木では小中学校の生徒数の推移は次の通りでした。

教良木小・中学校の生徒数の推移

年号	西暦	次年度		クラス数
		小学校生徒数	中学校生徒数	
平成2年	1990	147	76	4
平成12年	2000	111	67	3
平成17年	2005	77	46	3
平成21年	2009	56	41	3

■教良木中学校は昭和22年4月 天草郡教良木川内村中学校として設立  
 ■昭和37年の中学校の生徒数 最大 248名(6クラス)  
 ■敷地 16,840m<sup>2</sup>

小学生は平成2年比較で62%減  
 中学生は平成2年比較で46%減

# 新「本渡中学校」が開校

## 平成二十一年四月一日

平成十五年二月本度学校規模適正化審議会が中学校を三校とする答申を提出した。

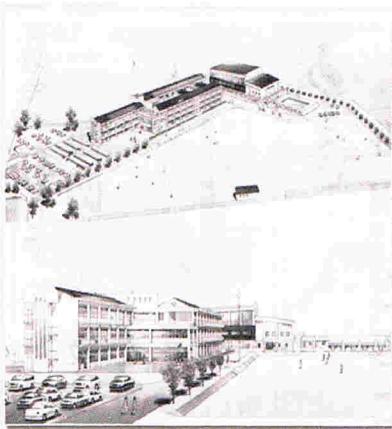
① 平成十六年一月 本渡教育委員会が市内の中学校を本渡東中学校、稜南中学校、新統合中学校の三校とする方針を決定、その理由は本渡・佐伊津・本町の中学校とも、施設・設備の老朽化が進んでいて他地域の中学校との格差があること、建替えには多額の費用がかかること、生徒数の減少傾向から適正な学校規模が保てない等である。

② 平成十六年一月 中学校建設委員会が発足  
 ③ 平成十七年八月 設備推進委員会で大矢崎埋立地を建設用地とすることが決定  
 ④ 平成十八年三月 合併により新統合中学校建設事業を天草市教育委員会に引き継ぐ  
 ⑤ 平成二十年一月新統合中学校の校名を募集、校名選定委員会は**本渡中学校**とした  
 ⑥ 平成二十年三月 市議会で本渡・佐伊津・本町の三校廢止し、「**本渡中学校**」を新設置する条例が可決された

⑦ 平成二十一年度、二十二年度 建設工事、通学方法、安全対策等の検討  
 ⑧ 新**本渡中学校**は平成二十二年四月一日には一学年八学級三百八名、二年六学級一百六〇名、三年六学級二百六〇名で開校

天草市の小・中学 生徒数の推移 (平成26年は推定値)		
平成年号	小学校生徒数	中学校生徒数
10	7,059	4,304
20	5,097	2,840
26	4,339	2,364

平成20年と比較  
 平成26年には  
 16%減少



新「本渡中学校」のイメージ図 建設場所：本渡町広瀬5-110

電話 0969-22-0101

東京天草事務局次長天草駐在員

中井 詔太郎

合計二十学級八百二十五名で開校する。

故郷のために検討いたければ幸いです。

トヨレ、風呂、台所を高齢者向けにリフォームすれば、十年以上住めるでしょう。

大工等の知り合いが地元にいれば、リフォーム費用は三百万円ほどで済む場合もあります。教職員住宅を購入されると財政難の熊本県や天草市も助かりります。

本県や天草市も助かります。

通学方法、安全対策等の検討

⑧ 新**本渡中学校**は平成二十二年四月一日には一学年八学級三百八名、二年六学級一百六〇名、三年六学級二百六〇名で開校

天草市の今後の学校統合について

財団法人東京天草育英会

再活動開始

財団法人東京天草育英会は約十年、活動を休止していたが東京天草郷友会が主幹となつて再活動させることができ、平成二十一年八月二十八日の幹事会で合意されました。

しかし、低金利時代となつた十余年前から資産から生じる果実（金利）が五万円未満では奨学金の支払いが不可能となつたために会活動は休業状態となつてきました。

新任理事には東京天草郷友会の  
会長、副会長、相談役が就任

理事長  
常務理事  
園田 峯生（新任）  
藤川 博祥（新任）

理事 球山 建男  
荒木 親洋 (新任)  
(新任)

理事 小川 西  
矩正 (留任) 功

理事 木原理一郎（留任）

ることは現在の金融環境では不可能です。給付を再開するためには寄附事業収入に頼らざるを得ません。

迷により、子息の進学に伴う経済的負担が多くなっている父兄が増加しています。

例えば、毎年一ヶ月の毎月一万円を給付する」として、年間では二回八万円、継続すると四人分、九十六万円の給付財源が必要となります。

奨学金給付を一旦、開始すると、  
遅延、中止、廃止、休業をすること  
は「受給学生」に対しても不安と不信  
を与えます。財団法人東京天草育英  
会及び東京天草郷友会の信用・信頼  
を損なうことになると思います。

是非本育英会の活動をご理解して頂き、継続的なご寄附を賜りたいと思います。宜しく、お願ひします。

## 財団法人東京大草育英会の 目的と課題

## 経営理念 信頼と安全、 良心的な工事



最先端を誇る設備で  
ハイクオリティ、  
ハイパフォーマンス  
をお届けします

課題があります。

人分)の募金が必要であり、自給学生人数を増やすと巨額の給付資金の募金が必要となります。

天草には、九校一分校があります。また、天草出身の天草島外の高校生います。関東地域に天草出身者の大学への進学生に対して「受給学生」の募集、選考方法について多くの課題があります。

トバセ電気工事株式会社

代表取締役 烏羽瀬 建男

(五和町出身)

本  
社  
343-  
0803  
埼玉県越谷市砂原一八〇一  
TEL ○四八・九七〇 一二三(代)  
FAX ○四八・九七〇 一二六 業部  
○四八・九七〇 一二七 工事部  
FAX ○四八・九七〇 一二九 経理部  
静岡県三島市平田一七四一  
一  
11  
821

# (財) 東京天草育英会

## 設立会経過

昭和十四年一月吉見教英（みくに社長）さん、田付貞明さん、横田章さん（天草学生会会长）と会談され、横田さんから田付さんに天草学生寮の寄附を申しだられた。

田付さんは吉見さんの奨めによりこれを承諾された。当時の学生会の世話役武富正一さんは推薦で、「杉並区清水町一八八一」所在の物件、木造二階建て六〇・六六坪とその土地一〇八・五五坪を借地として田付さんが単独で買入、天草学生会に寄贈された。横田会長は「天草養生寮」と命名され、武富さんと共に数十名の学生が寮として大いに利用した。しかし、武富さんの死去、戦争の勃発、学生の応召、徵傭等もあって寮生も殆どいなくなつた。不幸にも終戦直前横田会長も死去された。指導者を失つて困っていたが、東京天草郷友会会員北田正重（元天草支所長）さんが近所にお住まいになつて居られたので、田付貞明さんが寮管理をお願いされた。

しかし、戦後の宿舎難の折か誰彼の区別なく入寮し收拾がつかず北田さんも不十分ながら勉強の場となり眞面目な学生が安心して勉強が続けられる養生寮とすることができた。

しかし、寮は荒廃していたので天草郷友会会員の吉田耕作、永田福一、小浦国継さん達は巨額の費用をかけて修理した。

また、学生の願いにより電気・水道代等の維持費を補助、多大なる尽力をされていた。

しかし、地主、井口さんの事情で借地権を払い下げる事になり、北田さんは、

当時の東京天草郷友会会長永田福一さんに提言され永田会長はその借地権買入代金の寄附を諮り、借地権者の田付貞明さんの同意の上、北田さん名義で土地を昭和二七年十月二十四日に買入れた。

このようないきさつを辿ら養生寮は、昭和十四年から三十四年まで、天草出身の学生寮として使用されて来たが、元來が古家だったので腐朽が甚だしく集団生活には危険な状態であった。

当時の東京天草郷友会会長鶴田亀男さんは、関係者と相談した結果、養生寮処理委員として「財團法人東京天草育英会設立委員会」を設け、建物は取りこわし敷地として売却し、その代金を基金として「財團法人東京天草育英会」を設立し、「将来有為の士を造る」ことが最も有意義なりとし、昭和三十七年五月二日「金￥12,329,000.-」にて土地を売却し、其の金を基金として「東京天草学生育英会」が創設された。

# 広報部からのお願い 会報への寄稿のお願い

新 日出雄

代表取締役会長

（本渡出身）

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町一丁目二番三号  
電話 ○三(三三三三)〇一二一（代表）  
（レオ新宿）

株式会社 エム・ティー・フード

代表取締役

（五和附出身）



鳥羽瀬 正一  
（五和附出身）

〒107-0062 東京都港区南青山一丁目五十一八  
電話 ○三(三三六一)六六〇九番（代表）  
リーラ乃木坂4F

■平成二十二年一月上旬には新規再編した正式な第88号会報を発行いたします。  
掲載は、会務報告の他、  
十地域会役員異動、事業活動等の報告  
十会員便りのコーナーを設けます。  
・国内外家族旅行等の紹介  
・友人、知人の活躍トピック等  
会報発行において、寄稿不足が編集の障壁になつております。皆様からの寄稿をお願いします。

## 編集あとがき

企画、編集に創造イメージがマンネリ化、苦慮し、発行が遅れたことをお詫びいたします。

会報は「会活動の鏡」だと思います。  
鏡が曇ると会活動の成果の表裏真実を会員に伝えることができません。鏡に映らない奥の事柄を読者の心に訴え、魅力ある会であることが、次々、薄らぎでいると思われます。会員に魅力ある会活動とその成果が親睦のみならず互助が芽生え、「仲間の輪が拡がる」一助を報ずることができる会報「あまくさ」を目指したいと思います。皆様のご指導、ご助言を頂ければ幸いです。

園田法律事務所

弁護士

（本渡出身）

荒木 峯生

〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目五十一七  
電話 ○三(三三六一)六六三九

税理士 荒木親洋会計事務所

所長

荒木 親洋  
（五和町出身）

事務所 東京都江戸川区南篠崎町三十五五七一〇  
〒133-0065 電話 ○三(三六七八)九二五〇  
自宅 千葉県流山市平和台四丁目六一〇  
〒270-0157 電話 ○四七一(五九)六六二六

株式会社 藤川工務店

代表取締役

藤川 博祥  
（新和町出身）

〒223-0056 横浜市港北区新吉田町五七八番地八号  
電話 ○四五(五九二)五〇七五  
FAX ○四五(五九三)三〇一八